



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告

2026年8月23日
No. 393

安藤たい作
ニュース

バックナンバー 品川 安藤たい作ニュース 検索

事務所 西品川 3-1 6-3 Tel/FAX 3491-3230

公式ライン
アカウント



漫画：安藤たい作

220億円投入で3億2千万（予定価格）
の部屋を含めたマンションを建てます

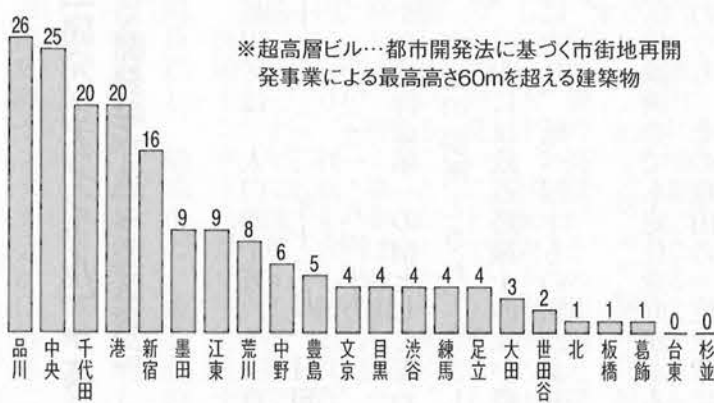
森澤区政は高橋・濱野前区政の“負の遺産”から脱却し

企業利益で住民犠牲の再開発は見直せ

図2 再開発に投じられた補助金総額の23区比較
(単位：百万円) ※国・都・区含む



図1 再開発により建てられた超高層ビルの棟数23区比較



23区で突出してきた品川の
開発前のめり姿勢

一方、前区政の大きな特徴
だった再開発推進はどうか。
一定の変化は見られるものの、
開発企業が主導する超高層開
発が住民を苦しめる現状が大
きく変わっていないというのが
実態です。更なる運動と論戦
で、この分野でも区政の変化
を勝ち取る必要があります。

通報システムの無償化・拡充、
地域包括支援センターの設置
の具体化、介護・障害福祉職
員への月1万円の待遇改善な
ど、住民福祉分野の前進は枚
挙に暇がなく、区政は大きく
変わりました。これらの全てが
共産党が提案してきたもので
あり、請願・陳情署名など住
民運動で取り組まれてきたと
いう点も重要です。

住民福祉分野は大転換
一方で再開発は

2022年末に森澤区政と

なり、その後学校給食や制服
代など義務教育の無償化施策、
大学生への給付型奨学金、補
聴器購入費助成や緊急代理

グラフは、少し古いデータで
すが2021年末時点での23
区調査の結果です。都市開
発法に基づく市街地再開発事業
により建てられた超高層ビル
の棟数は品川区が1位、同様
の定義の再開発に投じてきた
税金総額は中央区に並びトッ
プ2でした。これらの指標は、
品川区がいかに再開発に積極
的な姿勢なのかを示していま
す。「なぜ新宿や渋谷区などに
比べ、これほど多く税金を入
れるのか」と質問すると区は、
「補助金は、最後に埋めるピ
ース。事業者が売る建物の床の
価格が新宿、渋谷は高い。品
川区の床は価格が低いので、
その分を区が補助金で補って
いる」と答弁、品川に開発
を呼び込むため多額の税金を
投じていることを認めました。

前区政の負の遺産
まちづくりマスタープラン

区の再開発推進姿勢の行政
的な根拠とされているのがま
ちづくりマスタープランです。
森沢区長就任後のわずか3か
月後に改訂されたものである
ため、前区政の姿勢が色濃く
残っています。13もの拠点、2
つの都市軸を定め、土地の高
度利用と開発を全区的に誘導

当ニュースへの
ご意見・ご感想を
お寄せください

区議控室 Tel 5742-6818/FAX 3778-3088
taisakuando19740217@gmail.com

*当ニュースは、議会活動および区政
に関する政策等の広報活動に要する経
費等をまかなう「政務活動費」で発行
されています

する内容になっています。

超高層再開発は、

①地権者の居住権と財産権を蹂躪する

②地価高騰を引き起こす

③防災上も課題がある

④膨大なCO₂を排出する

⑤将来の建て替えの困難性

⑥膨大な税金を投じて超

富裕層しか住めない住宅

を造り続ける

⑦日照や風害など周辺環

境への影響が大きい

などの点から、持続可能な

まちづくりとは程遠いもの

そこに莫大な税金も入れ

続け推進する行政方針の

見直しはいまや不可欠です

区長自らが反対する住民

と話した件を議会で答弁

一方で変化もあります。

森澤区長は、24年末、再開

発の反対運動に取り組む

当事者住民と会って話を聴

くということを行いました。

共産党は議会で「区長は、

再開発に反対する住民と

会い、話を聴き、何を感じ、

何を課題ととらえたのか。

それをどのようにまちづく

りに反映させるのか」と質

問。区長は、

と答弁。本

会議で再

開発の質



まちづくりとは、住民自らがまちのあるべき姿について話し合いを重ねながら形づくっていくプロセスであると考えます。私自身、昨年末にまちづくりに関して区民の方と対話する機会をいただきましたが、そこでは将来に不安を感じる地域住民の切実な声をお聞きしました。まちづくりの主体は、そこに住む地域住民であるとの考えを改めて強くしたところです。

今後まちづくりに関する住民の様々な声に耳を傾けていく

弁を大いに活かし、運動や
論戦、行政の有り方をチェッ
クしていくことに活かして
いくべきです。



品川区議会で再開発の質

問を行っているのはほぼ共

産党だけというのが現状で

す。区長も議員も選挙で選

ばれる二元代表制の下で、

行政の有り方をチェックし、

提案していくのは議会の大

事な役割です。議会でも再

開発についてより活発な議

論が行われることが望ま

れます。最後に、共産党が

まちづくりに関して提案し

ている内容をお伝えします。

【共産党の提案】26年第二

回定例会一般質問より

●住民を支援し地区計画

(*)の制度が積極的に

活用される住民主体のま

ちづくりを進めるべき

*高さ制限や緑化の推進、

大規模開発の条件などま

ちの在り方を定めるルール。

世田谷区では93地区、区面

積の1/4以上で作られている

【区答弁】区民の主体的な

まちづくりへの支援として、

活動団体への補助金や専門

家派遣を行っている。今後

より多くの方々に利用いた

だき、地域による地区計画

の提案などにつながるよう

主体的なまちづくりを後

押ししていく。活動への補

助金や専門家派遣、地区計

画の内容についても積極的

な周知を進めていく

●世田谷区を参考に一定

規模以上の土地取引の際

は建築構想段階から区へ

の届け出と住民説明会を

義務付けることを求める

●これ以上の住環境悪化

を防ぐため区全体で高さ

制限の検討を求める

【区答弁】まちづくりは地

域の実情に応じて地域が望

むあるべき姿に向かつて進

めていくべきものと認識。

他自治体の取組等で参考

になるものについては、将

来の品川のまちづくりを見

据えた上で必要性などを

勘案していく。

第三火曜18:30~20:30は弁護士を迎えての無料法律相談会

9月は9/15(火)

【会場】安藤たい作事務所(西品川3-16-3・右地図)

【主催】共産党品川地区委員会

*予約制(5742-6818(控室)または3491-3230(事務所))

お困り事がありましたら、上記日程に関わらず
お気軽にご相談下さい。



安藤 たい作(あんど う たいさく)プロフィール

1974年宮城県仙台市生まれ。宮城教育大学に在学中に共産党に入党。漫画家を志し98年上京。ハケンで働きながら02年コミック誌奨励賞受賞。06年~品川区議会議員。5期目。文教委員・区民委員等を経て現在建設委員。党区議団幹事長。家族・妻、二女。好きなもの:麺類、少年ジャンプ、ファミコン。



日本共産党品川区議団